

## (10) 倉敷芸術科学大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間について

開講期間	前期	2020年5月7日	～	2020年8月5日
	後期	2020年9月25日	～	2020年2月2日
試験期間	前期	2020年8月3日	～	2020年8月7日
	後期	2021年2月3日	～	2021年2月9日
授業時間	1限	9:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:55	～	16:25
	5限	16:40	～	18:10

### ② アクセス(案内図)

#### 倉敷芸術科学大学へ

##### 【JR(新幹線・山陽本線 新倉敷駅)】

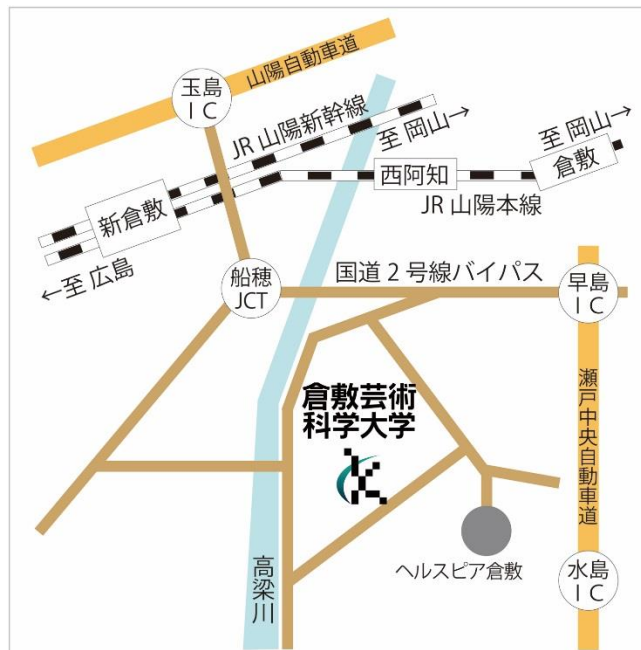
大学の最寄り駅はJR新倉敷駅です。

JR岡山駅からは山陽本線で新倉敷駅まで約20分です。

##### 【バス・タクシー(新倉敷駅～大学)】

新倉敷駅から大学までは定期バスが運行されています。

倉敷駅からもバスは運行されています。なお、タクシー利用の場合、新倉敷駅から約15分です。



倉敷芸術科学大学公式HP「大学へのアクセス」

(<http://www.kusa.ac.jp/about-university/access/>)

③ 担当窓口

学務部教務課	
所在地:	本館(3号)2階
電話:	086-440-1117

④ 開講大学からの連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限を延長し、以下のとおり受け付けます。ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

前期:4月8日(水)まで 後期:9月24日(木)まで

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

講義室等をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課へ来てください。

双方向ライブ型遠隔科目を履修する方

特にありません。

・ 施設利用

倉敷芸術科学大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・学食等が利用可能です。

⑤ 各科目のシラバス

・ 双方向ライブ型遠隔科目

ライブ配信(教養科目)			10101
倉敷まちづくり基礎論		村山 公保	
Foundation of Kurashiki Community Development			
1～4年次	単位数 2	前期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  倉敷は全国的に見ても特別な街である。しかし、倉敷市に住んでいても、何が特別なのか、明確に説明できる人は少ない。本講義では、倉敷について理解を深めるとともに、倉敷内外で行われている地域のまちづくり活動について学ぶ。日頃からまちづくりについて考えようとする心を育てながら、まちづくりに参加するときの土台となる基礎力を身につける。  具体的には倉敷の歴史や産業、観光の現状を知るとともに、市民・行政など様々な組織・団体から講師を招いてまちづくりの話の聞いたり、倉敷美観地区を実際に歩いて目で見て肌で感じたり、学生同士で議論したり、それを自分の言葉でレポートにまとめるなどして、まちづくりに関する理解を深め、意識を高める。</p> <p><b>【到達目標】</b>  ・倉敷についての理解が深まる。  ・まちづくりに関する興味・関心が高まる。  ・自分の考えや意見を持ち、それを発言したり、文章に書いたりする能力が高まる。  ・まちづくりやまち歩きについて、グループ内で話し合ったり、グループで一緒に行動したりできるようになる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  ・外部講師の講演のあとは、毎回、その内容に関するミニレポートを作成する。定期試験の時に提出する。  ・グループ単位で、(1)美観地区界隈を歩く、(2)自分たちで決めた場所を歩く、ということを行い、グループ単位でレポートを作成し、グループ単位で発表し、発表時にレポートを1部提出する。(ライブ参加者は1名のグループになる可能性がある)</p> <p><b>【注意事項】</b>  ・外部講師等の都合により日程や内容が変更になる場合がある。授業内容に(未確定)と書いてあるものは内容・実施日が未確定である。4/9までに決定している予定である。  ・この授業では「学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法」であるアクティブラーニングの手法を取り入れる。グループワークを行うので、グループのメンバと連絡を取り合い、お互いに協力しながら、まち歩き、レポート作成を行うこと。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  第1回:(4/9):授業の進め方の説明、まち歩きレポートの説明、受講者全員の自己紹介  第2回:(4/16):外部講師による講演(未確定)  第3回:(4/23):外部講師による講演(未確定)  第4回:(5/7):まち歩きの計画を立てるグループワーク(未確定)  第5回:(5/14):外部講師による講演(未確定)  第6回:(5/21):外部講師による講演(未確定)  第7回:(5/28):外部講師による講演(未確定)  第8回:(6/4):外部講師による講演(未確定)  第9回:(6/11):外部講師による講演(未確定)  第10回:(6/18):美観地区まち歩き報告会(未確定)  第11回:(6/25):外部講師による講演(未確定)  第12回:(7/2):外部講師による講演(未確定)  第13回:(7/9):外部講師による講演(未確定)  第14回:(7/16):個別まち歩き報告会(未確定)  第15回:(7/30):まとめ</p>			
<b>【テキスト】</b> 特に使用しない。			
<b>【参考図書】</b> 必要に応じて紹介する。			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  ・定期試験100%で評価する。定期試験は「授業の振り返り」として実施する。内容は「外部講師の講演やまち歩きを通して得たこと、授業での発言、これから学び続ける姿勢」など、各個人のアピールポイントを論述するものとする。ミニレポート、まち歩きレポートを答案の信ぴょう性の検証に使用する。</p>			

対面授業(教養科目)			10001
倉敷まちづくり基礎論		村山 公保	
Foundation of Kurashiki Community Development			
1～4年次	単位数 2	前期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  倉敷は全国的に見ても特別な街である。しかし、倉敷市に住んでいても、何が特別なのか、明確に説明できる人は少ない。本講義では、倉敷について理解を深めるとともに、倉敷内外で行われている地域のまちづくり活動について学ぶ。日頃からまちづくりについて考えようとする心を育てながら、まちづくりに参加するときの土台となる基礎力を身につける。  具体的には倉敷の歴史や産業、観光の現状を知るとともに、市民・行政など様々な組織・団体から講師を招いてまちづくりの話の聞いたり、倉敷美観地区を実際に歩いて目で見て肌で感じたり、学生同士で議論したり、それを自分の言葉でレポートにまとめるなどして、まちづくりに関する理解を深め、意識を高める。</p> <p><b>【到達目標】</b>  ・倉敷についての理解が深まる。  ・まちづくりに関する興味・関心が高まる。  ・自分の考えや意見を持ち、それを発言したり、文章に書いたりする能力が高まる。  ・まちづくりやまち歩きについて、グループ内で話し合ったり、グループで一緒に行動したりできるようになる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  ・外部講師の講演のあとは、毎回、その内容に関するミニレポートを作成する。定期試験の時に提出する。  ・グループ単位で、(1)美観地区界隈を歩く、(2)自分たちで決めた場所を歩く、ということを行い、グループ単位でレポートを作成し、グループ単位で発表し、発表時にレポートを1部提出する。(ライブ参加者は1名のグループになる可能性がある)</p> <p><b>【注意事項】</b>  ・外部講師等の都合により日程や内容が変更になる場合がある。授業内容に(未確定)と書いてあるものは内容・実施日が未確定である。4/9までに決定している予定である。  ・この授業では「学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法」であるアクティブラーニングの手法を取り入れる。グループワークを行うので、グループのメンバーと連絡を取り合い、お互いに協力しながら、まち歩き、レポート作成を行うこと。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  第1回:(4/9):授業の進め方の説明、まち歩きレポートの説明、受講者全員の自己紹介  第2回:(4/16):外部講師による講演(未確定)  第3回:(4/23):外部講師による講演(未確定)  第4回:(5/7):まち歩きの計画を立てるグループワーク(未確定)  第5回:(5/14):外部講師による講演(未確定)  第6回:(5/21):外部講師による講演(未確定)  第7回:(5/28):外部講師による講演(未確定)  第8回:(6/4):外部講師による講演(未確定)  第9回:(6/11):外部講師による講演(未確定)  第10回:(6/18):美観地区まち歩き報告会(未確定)  第11回:(6/25):外部講師による講演(未確定)  第12回:(7/2):外部講師による講演(未確定)  第13回:(7/9):外部講師による講演(未確定)  第14回:(7/16):個別まち歩き報告会(未確定)  第15回:(7/30):まとめ</p>			
<b>【テキスト】</b> 特に使用しない。			
<b>【参考図書】</b> 必要に応じて紹介する。			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  ・定期試験 100%で評価する。定期試験は「授業の振り返り」として実施する。内容は「外部講師の講演やまち歩きを通して得たこと、授業での発言、これから学び続ける姿勢」など、各個人のアピールポイントを論述するものとする。ミニレポート、まち歩きレポートを答案の信ぴょう性の検証に使用する。</p>			

対面授業(教養科目)				10002
倉敷まちづくり実践論			小山 悦司	
Practice of Kurashiki Community Development				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  学生自身のキャリア形成力や社会人基礎力を高めるとともに、「学生の元気がまちを元気にする」をコンセプトにした地域の活性化も目的としている。倉敷駅周辺および美観地区での実践的なフィールドワークやグループワーク(アクティブ・ラーニング)を行う。  こうした地域でのまちづくり活動を通して、課題を発見し、データを収集分析して、解決方法を提言できる能力を育成する。  本科目は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(COC 事業)の理念を継承しており、地域貢献力の高い人材を育成することを目的としている。</p> <p><b>【注意事項】</b>  「倉敷まちづくり基礎論(前期)」を履修し、単位を取得しておくことが望ましい。  学内での授業に加えて、倉敷駅周辺や美観地区など、学外でも授業を実施する。会場等の都合で日程が変更になる場合があるので留意していただきたい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション 【10月12日 3限(13:10-14:40)】</li> <li>2. 倉敷中心市街地のまち歩き 【10月12日 4限(14:55-16:25)】</li> <li>3. グループ編成+まちづくり実践活動プランの作成 【10月12日 5限(16:40-18:10)】</li> <li>4~6. グループ活動—学生によるまちづくりの実践—  10/13~11/8の間に「阿智神社秋の大祭(10/19・20)」、「倉敷屏風祭(10/19・20)」、「倉敷三斎市」(10/20)、「倉敷路地市庭(毎週土曜)」などにて実践活動 ※必要に応じて担当教員が巡回指導</li> <li>7. 学生によるまちづくり活動の実践事例および基礎理論 【11月9日 3限(13:10-14:40)】  ※実践活動報告レポートⅠ提出</li> <li>8. 9. 学生によるまちづくり活動の実践 【11月9日 4・5限(14:55-18:10)】  地域課題の解決に向けたグループワーク</li> <li>10~12. グループ活動—学生によるまちづくりの実践—  11/10~1/10の間に、「倉敷三斎市」(11/17、12/15)、「倉敷路地市庭(毎週土曜)」などにて実践活動 ※必要に応じて担当教員が巡回指導</li> <li>13. まちづくりに向けての提言(グループワーク) 【1月11日 3限(13:10-14:40)】  ※実践活動報告レポートⅡ提出</li> <li>14. まちづくりに向けての提言(プレゼンテーション) 【1月11日 4限(14:55-16:25)】</li> <li>15. 倉敷発! 学生まちづくりアピール(提言レポート提出) 【1月11日 5限(16:40-18:10)】</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  特に使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  適宜指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  実践活動報告レポートⅠ・Ⅱ(20%)、まちづくり提言レポート(20%)、グループ活動・プレゼンテーション(20%)、実践活動への参加状況(40%)に基づいて、総合的に評価する。</p>				

対面授業(芸術学部)			10003
デザイン史		近藤 研二	
History of Design			
履修年次1～4	2単位	前期	1コマ
<b>【授業の目的】</b> 産業革命以降におけるデザインが真の現代的意味をそなえるまでの経過を、美術の歴史的な流れや社会的背景を踏まえながら考察する。			
<b>【授業内容】</b> 1. オリエンテーション 2. 19世紀前期の建築・工芸 3. 近代グラフィックの始まり 4. ウイリアム・モリスの美術工芸運動 5. アールヌーボー運動とその意義 6. 新しい材料と工学の発展 7. ドイツ工作連盟とその周辺 8. バウハウス確立までのヨーロッパとアメリカ 9. バウハウスの理念(1) 10. バウハウスの理念(2) 11. アメリカ大陸のデザイン動向 12. 第二次大戦後のモダンデザインと美術 13. 第二次大戦後のグラフィックデザイン 14. 1970年以降のポストモダンデザインと美術 15. まとめ			
<b>【テキスト】</b> 使用しない			
<b>【参考図書】</b> 適宜紹介する。			
<b>【成績評価の方法】</b> 授業に取り組む姿勢、課題レポートと定期試験で評価を行う。 評価は、受講態度(30%)、定期試験(70%)の割合で評価する。			

対面授業(危機管理学部)				10004
倉敷産業研究			村山 公保 他	
Kurashiki Industrial Research				
履修年次2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  岡山・倉敷地域を中心に企業経営の現場で日々奮闘されている経営者や業界リーダーの方々を週替わりで招聘し、起業のいきさつや企業経営のポイントを、それぞれ独自の切り口で語っていただき、受講生の起業・企業経営上の意識向上を図る。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  ・授業内で学んだこと  グループ単位で外部講師の講演を通して得たことをまとめる。まとめた内容は授業中に発表する。</p> ・学外見学で学んだこと グループ単位で企業見学、工場見学、イベント参加、体験会参加等を行い、レポートにまとめる。まとめた内容は授業中に発表する。2箇所(2種類)に参加し、レポート発表は2回になる。 <p><b>【注意事項】</b>  ・外部講師等の都合により日程や内容が変更になる場合がある。授業内容に(未確定)と書いてあるものは内容・実施日が未確定である。10/1 までに決定している予定である。  ・この授業では「学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法」であるアクティブラーニングの手法を取り入れる。グループワークを行うので、グループのメンバーと連絡を取り合い、お互いに協力しながら、まち歩き、レポート作成を行うこと。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第 1 回:(10/ 1):授業方針の説明  第 2 回:(10/ 8):外部講師による講演(未確定)  第 3 回:(10/15):外部講師による講演(未確定)  第 4 回:(10/22):外部講師による講演(未確定)  第 5 回:(10/29):外部講師による講演(未確定)  第 6 回:(11/ 5):外部講師による講演(未確定)  第 7 回:(11/12):学外見学で学んだことの発表会(1 回目)(未確定)  第 8 回:(11/19):後半の授業を総合して学んだことの発表(未確定)  第 9 回:(11/26):外部講師による講演(未確定)  第 10 回:(12/ 3):外部講師による講演(未確定)  第 11 回:(12/10):外部講師による講演(未確定)  第 12 回:(12/17):外部講師による講演(未確定)  第 13 回:( 1/ 7):外部講師による講演(未確定)  第 14 回:( 1/14):学外見学で学んだことの発表会(2 回目)(未確定)  第 15 回:( 1/21):後半の授業を総合して学んだことの発表</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  特に使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  特になし。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  ・定期試験 100%で評価する。定期試験は「授業の振り返り」として実施する。内容は「外部講師の講演を聞いて得たこと、学外見学で行ったこと得たこと、グループ討論で果たした役割や得たこと、授業での発言、これから学び続ける姿勢」など、各個人のアピールポイントを論述するものとする。</p>				

対面授業(生命科学部)				10005
水族飼育技術論				山野 ひとみ
Breeding Technology of Aquatic Animals				
履修年次2～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  水族の飼育は、生物の収集から始まり、輸送、収容、維持・管理までの一連の過程から成り、その過程で発生する社会的、生物学的および技術的な問題を解決することで成立する。本講義では、水族飼育の基本的な流れを解説するとともに、飼育の過程で発生する様々な問題を取りあげ、その解決方法を紹介する。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1 水族飼育の基礎知識を身につけることができる。  2 各分類群の特徴を踏まえ、飼育過程で生じる問題およびその解決法を理解し説明できるようになる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  授業時間の初めに前回の講義内容に関する小テストを実施するため、各回の予習と復習をしておくこと。</p> <p><b>【授業内容】</b>  1. 水族を飼育するために  2. 水族の収集と輸送  3. 水族の飼育設備  4. 飼育水の浄化について  5. 水族の飼育環境と病気  6. 水族の病気1(ウイルス、細菌病)  7. 水族の病気2(寄生虫)  8. 水族の餌料と栄養  9. 魚類の餌料  10. 無脊椎動物の餌料  11. 水族の繁殖1(魚類)  12. 水族の繁殖2(無脊椎動物、哺乳類)  13. 水族の飼育と保存  14. 水族の飼育と保護  15. まとめ</p> <p><b>【テキスト】</b>  講義資料としてプリントを配布する。</p> <p><b>【参考図書】</b>  渡邊武編「改訂 魚類の栄養と餌料」(恒星社厚生閣)、日本ビタミン学会編「ビタミンの辞典」(朝倉書店) 日本動物園水族館協会編「新・飼育ハンドブック」1～4巻</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  小テスト 40%(到達目標 1 を評価)、定期試験 60%(到達目標 1、2 を評価)により成績を評価し、合計 60 点以上を合格とする。</p>				



対面授業(生命科学部)				10006
バイオメカニクス			枝松 千尋	
Biomechanics				
履修年次3~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  安全に効率的にスポーツのパフォーマンスを向上させるためには、スポーツ技術の裏側にあるものを理解し、分析し、そして新たなものを創造することが必要である。  本講義では、力学・人体解剖学・運動生理学の複合領域であるバイオメカニクスを学び、科学的な視点からスポーツ技術を理解することを目指す。  ・力学の基礎を身につける。  ・スポーツ技術をバイオメカニクスの観点から考察できる能力を身につける。</p> <p><b>【連絡事項】</b>電卓を持参すること。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 身体のバイオメカニクスの特性と動作解析へのアプローチ法</li> <li>3. 身体重心(慣性質量と慣性モーメント)</li> <li>4. 加速度・速度・変位</li> <li>5. 力</li> <li>6. 運動量と力積</li> <li>7. 投射体の運動</li> <li>8. 力学的エネルギー・仕事・パワー</li> <li>9. 力のモーメントと角運動量</li> <li>10. 関節トルク</li> <li>11. 流体力学(空気・水の力とスポーツ)</li> <li>12. スキルのバイオメカニクス(1)</li> <li>13. スキルのバイオメカニクス(2)</li> <li>14. スキルのバイオメカニクス(3)</li> <li>15. まとめ</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  阿江 通良・藤井 範久 著「スポーツバイオメカニクス20項」(朝倉書店)</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  プリント等配布</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業に取り組む姿勢と小テスト(40%)、定期試験(60%)により評価する。</p>				

対面授業(生命科学部)				10007
動物行動心理学				唐川 千秋
Animal behavior and psychology				
履修年次3~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>動物のところが知りたい、動物が何を考えているかわかれば、それに合った対応ができると考えるのは当然であるが、それには動物の行動本来にさかのぼって、その意味・成立メカニズムを知る必要がある。擬人的にではなく、客観的に動物の行動が理解できるようになることを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>(1)動物の行動を生態学的・行動学的知識にもとづいて説明できる。  (2)動物の学習原理を理解する。  (3)さまざまな問題行動の原因と、それらへの対処法を理解する。</p> <p><b>【授業外学習】</b></p> <p>学習時間の目安:各回4時間</p> <p>予習:教科書の指定ページを読み、概略をつかんでおく。教科書に挙げてあるキーワードを調べておく。  復習:各回の復習欄に記載した目標達成に向けて、内容を整理・理解する。  各章末の問題を解く。  指定したキーワードを用いて説明する形式の課題レポートを作成する。</p> <p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1回 オリエンテーションー動物行動学、比較心理学とは  予習:P.3-7  復習:進化に関する諸概念、エソロジーについて理解する。</p> <p>第2回 行動の進化と適応  予習:P.7-13  復習:家畜化の過程で起こる形態的・行動的变化について理解する。</p> <p>第3回 維持行動  予習:P.17-25  復習:イヌ・ネコの摂食・排泄行動などについて理解する。</p> <p>第4回 社会行動(1)社会構造、生殖行動  予習:P.29-37  復習:群れの構造、生殖戦略、性行動について理解する。</p> <p>第5回 社会行動(2)イヌのコミュニケーション行動  予習:P.38-43  復習:イヌのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第6回 社会行動(3)ネコのコミュニケーション行動  予習:P.43-48  復習:ネコのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第7回 行動発現のしくみ  予習:P.53-73  復習:動機づけ、情動、行動の周期性について理解する。</p> <p>第8回 行動の発達(1)イヌの行動発達  予習:P.77-81  復習:イヌの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p>第9回 行動の発達(2)ネコの行動発達  予習:P.81-84  復習:ネコの発達段階ごとの特徴を理解する。</p>				

<p>【課題1】2-9回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。</p> <p>第10回 動物の学習原理(1)条件づけ  予習:P.84-90  復習:動物心理学史を通して学習心理学成立の背景、条件づけ理論について理解する。</p> <p>第11回 動物の学習原理(2)学習理論の展開  予習:P.90-91  復習:条件づけ理論の展開について理解する。</p> <p>【課題2】10-11回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。</p> <p>第12回 問題行動(1)問題行動と行動診療  予習:P.97-115  復習:問題行動の原因と、行動修正に有効な技法を理解する。</p> <p>第13回 問題行動(2)イヌ、ネコにおける問題行動  予習:P.121-139  復習:イヌ・ネコの問題行動の類型と原因、療法について理解する。</p> <p>第14回 問題行動の予防  予習:P.143-156  復習:問題行動の予防に有効な技法を理解する。</p> <p>【課題3】12-14回の内容についてグループで、指定したキーワードを用いて問題行動についてまとめて発表する。</p> <p>第15回 動物福祉の概念と評価  予習:「動物福祉学」 P.73-80,103-116  復習:伴侶動物、実験動物を中心に、動物福祉の問題点と対応を理解する。</p>
<p>【テキスト】  動物行動学 全国動物保険看護系大学協会カリキュラム検討委員会 インターズー   978-4-89995-810-9</p>
<p>【参考図書】  全国動物保険看護系大学協会カリキュラム検討委員会(編) 2014 動物福祉学 インターズー  ISBN: 978-4-89995-814-7  日本動物心理学会(監)藤田和生(編著) 2015 動物たちは何を考えている? 技術評論社  ISBN: 9784774172583  藤田和生 2015 誤解だらけの”イヌの気持ち 財界展望新社 ISBN: 978-4-87934-025-2</p> <p>その他、適宜紹介する。</p>
<p>【成績評価の方法】  課題3編30%(課題1は到達目標1、課題2は到達目標2、課題3は到達目標3に対応する)、  定期試験70%(到達目標1・2・3)の重みで評価する。総合計60点以上を合格とする。</p>

対面授業(生命科学部)				10008
医学概論			藤本 一満 他	
The introduction to medical science				
履修年次1~4	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> これからの医療の特徴の一つは、医師、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、放射線技師、栄養士等専門性の異なる様々なスタッフがチームを組み、さらには福祉関係など医療に関連する分野の職種とも連携を取りながら、質の高い医療サービスを展開する点にある。本講義では医療全体を見渡す広い視野を持ち、医療を支える専門職に共通の基礎知識を学ぶことを目的とする。				
<b>【授業内容】</b> 1. 臨床検査のあゆみ①(藤本) 2. 臨床検査のあゆみ②(藤本) 3. 医療における臨床検査(藤本) 4. 人体臓器について(三宅) 5. 各種がん細胞について①(三宅) 6. 各種がん細胞について②(三宅) 7. あなたの身近に潜む感染症—AIDS(森) 8. これからの医療—再生医療①(森) 9. これからの医療—再生医療②(森) 10. 免疫学概論(山崎) 11. 感染症学総論①(山崎) 12. 感染症学総論②(山崎) 13. 血液細胞の一生と生体防御について(渡部) 14. 血栓止血の不思議について(渡部) 15. 臓器移植(輸血)について(渡部)				
<b>【テキスト】</b> 必要時にプリント配布				
<b>【参考図書】</b> 現代医学概論 第2版 医歯薬出版				
<b>【成績評価の方法】</b> 定期試験(100%)で評価する。				

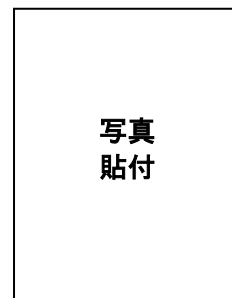
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

倉敷芸術科学大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成 年 月 日		
現住所	〒 - Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日：前期：4月8日(水)まで 後期：9月24日(木)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>双方向ライブ型遠隔科目</b>										
10101	倉敷まちづくり基礎論	教養	村山 公保 他	2	前期	1~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
<b>対面授業科目</b>										
10001	倉敷まちづくり基礎論	教養	村山 公保 他	2	前期	1~4	定員 10名	木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
10002	倉敷まちづくり実践論 (※1)	教養	小山 悦司	2	後期	1~4	定員 10名	集中土 13:10~18:10	<input type="checkbox"/>	
10003	デザイン史	専門	近藤 研二	2	前期	1~4	定員 10名	月 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
10004	倉敷産業研究	専門	村山 公保 他	2	後期	2~4	定員 10名	木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
10005	水族飼育技術論	専門	山野 ひとみ	2	後期	2~4	定員 10名	火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
10006	バイオメカニクス	専門	枝松 千尋	2	前期	3~4	定員 10名	火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
10007	動物行動心理学	専門	唐川 千秋	2	前期	3~4	定員 10名	木 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
10008	医学概論	専門	藤本 一満 他	2	前期	1~4	定員 10名	火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	

※1: 倉敷まちづくり基礎論を履修し、単位を取得しておくことが望ましい。

写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚